

北野恒富展

没後70年

Tsunetomi
Kilano

ツネトミ

本展は北野恒富の没後70年を記念し、官展や院展で発表された名品に加え、門下の作品や関連資料も網羅する久々の大回顧展です。妖艶と清楚、聖と俗の交錯する、恒富の魅力に迫ります。

ンかつほんなりとした清澄な画風に到達するその多彩さも、他の画家にはない、独自の光を放ちます。

初期は妖艶な女性像に挑んで「画壇の悪魔派」と呼ばれ、大正中期には《淀君》に代表される内面表現の深化を見せ、昭和に入るとモダンかつほんなりとした清澄な画風に到達するその多彩さも、他の画家にはない、独自の光を放ちます。

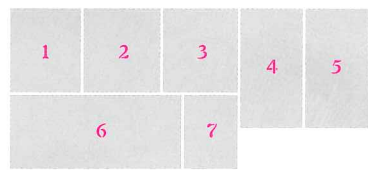
本展は北野恒富の没後70年を記念し、官展や院展で発表された名品に加え、門下の作品や関連資料も網羅する久々の大回顧展です。妖艶と清楚、聖と俗の交錯する、恒富の魅力に迫ります。

北野恒富(1880-1947)は金沢の生まれ。はじめ新聞の版下彫刻を手がけますが、17歳で大阪にて絵師に転じ、まずは新聞小説の挿絵で名をはせました。華やかな美人画ポスターでも人気を得ますが、明治43年(1910)の文展で《すだく虫》が初入選、翌年の同展でも《日照雨》が三等賞となり、日本画家としての地位を確立します。

大正3年(1914)再興第1回院展に《願いの糸》を出品、以後は同展を主な舞台に、東京の錦木清方、京都の上村松園と並ぶ、大阪を代表する美人画家として活躍を続けました。高い技術と自由な発想をかねそなえ、また最初期は妖艶な女性像に挑んで「画壇の悪魔派」と呼ばれ、大正中期には《淀君》に代表される内面表現の深化を見せ、昭和に入るとモダンかつほんなりとした清澄な画風に到達するその多彩さも、他の画家にはない、独自の光を放ちます。



1 《暖か》大正4年(1915) 滋賀県立近代美術館蔵 前期展示 / 2 《鏡の前》大正4年(1915) 滋賀県立近代美術館蔵 前期展示 / 3 《願いの糸》大正3年(1914) 公益財団法人木下美術館蔵 全期間展示 / 4 《墨染》大正後期 川浦真樹氏蔵 全期間展示 / 5 《淀君》大正9年(1920) 耕三寺博物館蔵 全期間展示 / 6 《いとさんこいさん》昭和11年(1936) 京都市美術館蔵 後期展示 / 7 《ポスター：朝のクラブ歯磨》大正2年(1913) 公益財団法人吉田秀雄記念事業財団アド・ミュージアム東京蔵 全期間展示 ※会期中、一部展示を行います。前期：11月3日～11月26日 後期：11月28日～12月17日



関連イベント

講演会「北野恒富のモダニズムと美人画——本画、ポスター、挿絵を読み解く——」
 講師：橋爪節也(大阪大学教授・総合学術博物館/大学院文学研究科兼任)
 11月26日(日)14:00より/11階講堂にて/聴講無料
 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布)

講演会「北野恒富と岩絵具の新表現」
 講師：荒井経(日本画家・東京藝術大学大学院准教授)
 12月3日(日)14:00より/11階講堂にて/聴講無料
 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布)

ワークショップ「素材であそぶ vol.1・岩絵具」(事前申込制)
 普段ふれる機会の少ない岩絵具。その基本的な使い方や特徴を体験し、日本の伝統的な画材への理解を深めます。
 講師：大浦雅臣(日本画家)
 12月16日(土)13:30より/11階講堂にて
 参加費：有料(詳細はHPにて)/定員15名/対象：小学3年生以上

【申込方法】往復はがきまたは当館ホームページからお申し込みください。往復はがきの場合は、郵便番号・住所・電話番号(当日連絡可能なもの)・参加人数(2名まで)・氏名と年齢(参加者全員分)を明記の上、〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 イベント係まで。
 ※申込締切12月6日(水)必着 ※応募多数の場合は抽選

市民美術講座

「美人画を超えて——北野恒富の魅力」
 講師：西山純子(当館上席学芸員)
 11月18日(土)14:00より(13:30開場予定)/11階講堂にて
 先着150名/聴講無料

「近代美女競べ：大正期の美人画」
 講師：西山純子(当館上席学芸員)
 12月9日(土)14:00より(13:30開場予定)/11階講堂にて
 先着150名/聴講無料

ギャラリートーク
 担当学芸員による：11月8日(水)14:00より
 ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日(11月8日を除く)14:00より
 ※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
 ※混雑時には中止する場合があります。

同時開催 所蔵作品展「近代美女競べ」
 ※「没後70年 北野恒富展」をご観覧の方は無料

次回展示「小沢剛展」2018年1月6日(土)～2月25日(日)

千葉市美術館
 Chiba City Museum of Art
 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
 Tel.043-221-2311(代) http://www.ccma-net.jp

【交通案内】

JR千葉駅東口より ●徒歩約15分 ●バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 ●バスのりば16番C-busにて「中央区役所・千葉市美術館前」下車 ●千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分

京成千葉中央駅東口より ●徒歩約10分

東京方面から車では ●京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く ※千葉市中央区役所と同じ建物です。 ※地下に、区役所と共用の機械式駐車場がありますが、混雑時にご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。